

あぐりサポーター（農作業の応援隊）報告

あぐりサポーターの目的

一大消費地である東京にも畑があり、生産者の高齢化、担い手不足が大きな問題となっています。年々増加する休耕農地の解消を目的に、2006年にJA東京中央会と東京都生協連が連携して、“あぐりフレンズ・東京”を立ち上げ、休耕農地を活用して農作業の体験を行い、野菜を育てる喜びや採れたて野菜の美味しさを実感しました。

今年度は、JA西東京と連携し、名称も改め「あぐりサポーター」として休耕農地の解消のために、農作業の応援をします。

第1回作業 畑の整備

日 時：5月29日（土）10：00～11：30

参加人数：13チーム 26名（JA西東京 1名 東京都生協連 3名）

芒種



“あぐりサポーター”として初めての作業。
現地では、早朝に強い雨があり、植え付けを予定していましたが、断念しました。
時々小雨がばらつき、5月とは思えないような肌寒さの中の作業でした。

【畑の整備】



初回の挨拶と注意事項、作業の説明で始まりました。

今回は経験者ばかりの参加で、草取りは手馴れたものです。



マルチ（虫などから種や苗を守るビニール）を敷く予定でしたが、早朝の大雨で断念しました。

所々に、アスパラやにんじんの若い葉が。前年まで市民農園だったから、いろんな残り物があるね。ビニールなど、土に還らないものも。



夏の日差しから避難するため、ゴーヤを植えて緑のトンネルをつくります。蔓を這わせる網を張っています。

【畑の周辺】



辺りは住宅地。隣は市民農園で、色々な野菜が育てられています。反対側のお隣は住宅。道路を隔てた向かい側も畑になっていました。

【おまけ】

アスパラ

残っていた根から葉がいくつか出ています。根が取れないよう、そっと掘り、持ち帰りました。大きく育つといいね。



小松菜

青々と大きく育っていました。収穫して、皆で分けました。

